

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム社会主義共和国
2. 案件名	ベトナム国ホーチミン市師範大学初等教育学部教員および学生等を対象とした STEAM 教育能力強化事業
3. 事業の背景と必要性	<p>・ベトナムでは、戦後の復興を背景に、広範な教育普及のため知識伝達を優先してきた。しかし、2018年の学習指導要領の改訂を通じて、知識中心から学習者を主体とする思考力を育む教育へとシフトを図っている。指導要領は更新されたが、教員の研修プログラムは未だ充実しておらず、学校での研修や授業改善の体制も改善が必要である。</p> <p>・実施団体は日本の文部科学省が推進する EDU-Port 日本プロジェクトに参加し、「日本式理科実験教員研修」に携わった。この経験を活かし、ベトナムの教育向上のためには教員研修だけでなく、日本の学校研修の専門知識と体制を取り入れ、研修プログラムの不備を解消することが重要だと認識している。</p>
4. プロジェクト目標	研修や講義を受けた教員 (Vietnamese Core-STEAM Teachers: V-CST) が勤務校で新しい教育指導要領に沿って、STEAM 型 (Science, Technology, Engineering, Art and Mathematics-type) AL 授業 (Active Learning Classes) が出来るようになる。
5. 対象地域	ベトナム国ホーチミン市
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホーチミン市師範大学教員、研修を受講する小学校教員、ホーチミン市師範大学初等教育学部学生 ・モデル授業に参加する小学生
7. 生み出すべきアウト び活動	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研修を受けたベトナム小学校現職教員 (V-CST 研修修了者) が輩出される。 2. 研修で提供された STEAM 型 AL 授業を自分の授業で実施可能な教員 (V-CST) が養成される。 3. 所属校における教育改善の中核的役割を担う教員 (上級 V-CST) が養成される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1: HCMUE によって、ホーチミン市教育訓練局へ V-CST 研修の実施、日程調整と現職教員の参加依頼が申請される。 1-2: 大阪教育大学・HCMUE によって、V-CST 研修候補者が選ばれる。 1-3: HCMUE によって、研修会場が提供される。 1-4: 日本側提供の教材案が、HCMUE によって、妥当性が検討される。 1-5: 理科、算数、図工、音楽等の教科について、実験・実技を含む研修が実施される。 1-6: 研修修了者を V-CST 研修修了者として認証する。 1-7: HCMUE の学生対象に、日本人専門家による講義が行われる。 2-1: 日本側の知見に基づく AL 型 STEAM 教育の評価基準 (案) が作成される。 2-2: V-CST 評価基準が、日本側と HCMUE によって作成される。 2-3: HCMUE によって、ベトナムにおける教科教育方針と整合性が確認された AL 型 STEAM 教育の実施の評価基準が策定される。 2-4: 研修を受講した教員が、自身の担当授業で AL を実施する。 2-5: 実践記録が、V-CST 研修修了者から報告される。 2-6: 日本人専門家による遠隔指導が行われる。 2-7: HCMUE による指導が行われる。 2-8: 日本側と HCMUE の V-CST 評価員によって、評価基準に従って、V-CST 候補者を評価し、V-CST の認証を行う。 2-9: 年間 V-CST 優秀活動者を表彰する。 2-10: 本邦研修が実施される。 2-11: V-CST の勤務校で、日本人専門家による模擬授業が実施される。(フォローアップ研修) 3-1: 校内研修を行うためのノウハウに関わる研修が実施される。 3-2: 校内研修の実施体制が構築される。 3-3: V-CST による校内研修が実施される。 3-4: 校内研修実施上の課題を特定し、対応する。 3-5: 上級 V-CST (校内研修実績者を候補) の評価認証基準を、日本側、HCMUE、双方協議の上で策定。 3-6: V-CST カンファレンス年会 (2 年目以降) を開催し、優れた実践を行った V-CST が活動内容を、V-CST 修了者・候補者に向けて、講演発表を行う。 3-7: 発表された実践内容は、上級 V-CST を認証の判断対象とする。 3-8: 校内研修実施 V-CST の中から、認証評価基準に基づいて、日本側、HCMUE、双方協議の上で上級 V-CST を認証する。 3-9: 校内研修実施校に V-CST 修了者を招き、実践研修を実施する。 3-10: V-CST 修了者の実践状況をモニタリングし、CP 及び上級 V-CST が技術的なアドバイスを行う。
8. 実施期間	(西暦) 2023 年 11 月 - 2026 年 11 月 (3 年 0 ヶ月)
9. 事業費概算額	10,556 千円
10. 現地カウンターパート	ホーチミン市師範大学
II. 実施団体の概要	
1. 提案団体名	国立大学法人 大阪教育大学
2. 活動内容	教員養成および教育・学習支援人材養成等